

## 今年最後の朝礼、健康で安全・安心な冬休みに

23日(水)は、冬休み前の最後の登校日でした。1年の締めくくり、冬休みの過ごし方を確認するために朝礼を行いました。

24日(木)から冬休みが始まりますが、生徒の皆さんには、ぜひこの1年にあったことをゆっくり振り返り、自分の成長を確かめてほしいと思います。そして、新しい年の目標を立ててください。

さて、健康で安全・安心な冬休みにするために、今年は特に新型コロナウイルス感染防止に努めてほしいと思います。現在の感染第3波は、家庭内感染が多いと報告されています。冬休み明け、元気に登校できるように、ご家庭でも引き続き感染防止に努めていただけると幸いです。23日(水)に冬休み用の健康観察表を配付しました。冬休み中においてもご家庭で健康観察を実施していただき、記入をお願いします。1月7日(木)に学級で提出をお願いします。市教育委員会と市小中校長会で作成しました、「冬季休業中の児童生徒の安全・安心な生活のために」「新型コロナウイルス感染症による出席停止、臨時休業等について」の文書も配付しましたのでご覧ください。

なお、先週20日は、第3日曜日で津島市家庭防災の日でした。12月のテーマは「大掃除の季節です。家具などの固定をして、部屋の出入り口や通路に危険なものを置かないように整理整頓しましょう」です。災害時を意識した家や部屋の整理整頓を話し合いながら大掃除していただけたら幸いです。それでは、保護者の皆様、生徒の皆さん、よいお年をお迎えください。



### ○ 校長講話

4か月前、例年より短い夏休みが明け、最初の朝礼で「目的」と「目標」の話をしたことを覚えていますか。「遠くにある最終的なゴールが『目的』で、遠くにある目的に到達するために、途中の目印となるものが『目標』です。本当の意味での目的は、幸福な人生を切り拓いていくために、『誰かの役に立つ、それを認めてもらえる』がとても大切だと思います」と話しました。

今日は、「目的」と「目標」についてあらためて話をします。皆さんは、何かに取り組むとき、周りから「目標をもつことの大切さ」をよく聞くとお思います。ところで、目標だけもって、目的がなかったらどうでしょう。目的がなかった場合、様々な困難にぶつかったとき、簡単にその目標をあきらめてしまうのではないのでしょうか。目標と同時に目的をもつことができたなら、とても大きな力になると思います。

パラリンピックのクロスカントリースキーの日本代表選手の新田佳浩(にったよしひろ)さんのことを話します。

新田さんは、3歳のときに祖父が運転する農機具のコンバインに左手を巻き込まれて、肘から先を失いました。それでも4歳からスキーを始め、小学校入学後は、クロスカントリースキーに夢中になり、3年生で地元の大会で優勝し、小学校卒業までに県大会優勝など4大会で優勝しました。しかし、中学校入学後は壁に当たり、両手でストックを使う選手に勝てなくなり、3年生でスキーをやめました。



両手でストックを使う選手に勝てなくなり、3年生でスキーをやめました。

それでも、高校入学後に新田さんに転機が訪れました。高校1年のときに2年後に行われる長野パラリンピックの関係者が出場を勧めに訪れ、自分と同じように左手のない外国の選手が、自分にとって信じられない速さで滑っているビデオを見ました。その後、新田さんはクロスカントリースキーを再開しました。元々実力のあった新田さんは、長野パラリンピックで8位、翌年の世界選手権で優勝、次のソルトレイクパラリンピックでは銅メダルを獲得しました。そして、次のトリノパラリンピックでは、金メダルを確実に獲得し、金メダルに向けて充実したトレーニングも行っていました。ところが、このトリノ大会の競技中に考えられないアクシデントが起きました。なんと、途中でバランスを崩して転倒し、すぐに起き上がれず大敗しました。トリノから自宅に戻った新田さんは、家に引きこもりました。その最中に祖父が、自分の運転するコンバインで可愛い孫が片腕を失ったとき、自分の息子である父親に「孫と一緒にわしは死ぬ」と言い、それ以後自分を責め続けてきたことを知ることになりました。

祖父の言葉を知り、新田さんは目的を見失っていたことに気がきました。目標は常に金メダルでしたが、何のための金メダルなのかを忘れていたことに気がきました。金メダルを取って、祖父の首に掛けてあげ、「おじいちゃん俺にとって、最高のおじいちゃんだよ」と言うことが夢だったのを思い出しました。新田さんは、「目標は金メダル、目的は祖父のために」を胸に、4度目のバンクーバーパラリンピックに挑み、2個の金メダルを取りました。自宅に戻った新田さんは、92歳になった祖父の首に金メダルを掛けることができました。

何かに取り組むとき、「誰かのために」という目的があると、人は簡単にあきらめない、大きな力を発揮すると思います。



## ○ 伝達表彰

- ・ 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール  
 ポスターの部 特選(市内最優秀賞):1年女子1名  
                   市内優秀賞:1年女子1名  
 書道の部 佳作(市内最優秀賞):2年女子1名  
                   市内優秀賞:1年女子2名・  
                                   2年女子1名  
                                   3年女子2名
- ・ 中学生の税についての作文  
 特選 3年男女1名ずつ  
 ※ 今回、学校にも感謝状をいただきました。
- ・ 女子バスケットボール部  
 海部地区中学校バスケットボール新人優勝大会 第3位



## 「津島市とSDGs」講演会

12月15日(火)に、1年生は津島市役所から講師をお招きして、SDGsと関わる津島市の取組を学びました。SDGsの17の目標を「環境」「社会」「経済」の3つの分野に分け、それぞれの分野で具体的に津島市が取り組んでいることが分かりました。2030年に向けて、地域で自分たちができることを考えるきっかけになったと思います。

先週は、生徒会ボランティア委員会のエコキャップ回収運動がありました。今週は、生徒会役員の資源回収がありました。エコキャップは最終的にワクチンとなり、世界に届けられます。資源回収も温暖化防止等の地球環境の保全となります。学校で取り組んでいることも、SDGsの目標達成につながっています。17の目標は、「地球を持続可能なものにするために」「誰一人取り残さない社会にするために」という目的で作られています。目的を知ることによって、何かに取り組む時、大きな力を発揮できると思います。

